

## 台湾の玄奘大学と連携協定

3月25日、台湾の玄奘大学との教育連携協定を締結しました。海外の大学との協定は初めてです。玄奘大学の学長の簡紹琦先生らをお迎えして行われた調印式では、金美齡名誉理事長が立ち会い、井上専務理事がJETの代表として協定書に署名しました。（山口校長は海外出張中。）

今後、JETでの日本語の受講が大学での単位として認められることとなります。また、大学から継続的に奨学生を受け入れ、双方の日本語事業の発展と、人材育成・友好交流を目指します。

玄奘大学は、台湾の新竹市にある1997年創立の仏教系私立大学。両校を結ぶきっかけを作ったのは、応用日語学系主任の池田辰彰先生です。2018年7月、越野理事長が台北滞在中の折、急遽、日本語を学ぶ学生に向けて講演する機会を作ってくださいました。

また、昨年9月から12月にかけて行ったオンライン授業では、のべ30名もの玄奘大学の学生たちが参加しました。

懇親会には、当校前副理事長の高木啓代議士と順天学園(北区)の渡辺孝蔵理事長も同席され、30年にわたる北区有志の日台交流のエピソードなどで盛り上がりしました。



↑玄奘大学の簡紹琦校長から、菩提樹の葉(仏陀が悟りを開いたときの樹から分枝して三代目)が贈呈されました。



↑簡紹琦校長(前列中央)、朱廣興教務長(前列右から2人目)、邱琪瑄研發長(後列左から3人目)、池田辰彰主任(前列左端)らと。通訳は卒業生の何宜諺さんと邱冠寧さん(後列右の2人)が務めました。懇親会で。

## 新入生 54 名を迎え入学式

4月3日、うらかな春の日差しのなか、入学式が行われました。台湾、香港、インドネシア、タイ、マレーシアなどから54名の新入生を迎えました。

入学式では、山口校長、越野理事長、井上専務理事が、歓迎の挨拶をしました。

山口校長は、「読書をしましょう。語彙を増やして、思考力をつけましょう。そしてみんなの力で楽しい学校にしましょう。」と呼びかけました。そしてJETの校訓である「天は自ら助くる者を助く」を説明し、新入生にエールを送りました。

越野理事長からは、「艱難汝を玉にす」という言葉が紹介されました。これから各自が目標に向かって努力する中で、苦しいことがあっても乗り越えて成長してほしいと激励しました。また、日本の理解者が増え、異文化理解が草の根レベルで進むことが、ひいては世界平和につながるのだと語りました。

前校長の井上専務理事からは、JETでハイレベルな日本語力を身につけてほしいという熱いメッセージが発せられました。「JLPTのN1で180点(満点)以上を取れ!日本人より上手になれ!私(井上)より上手になれ!みなさんには無限の可能性がある。チャレンジしよう!チャレンジを止めたら成長は終わる。頑張ろう!」

入学式のあとは、オリエンテーションなどを経て、歓迎パーティー。飲食をともにしながら、やや緊張した面持ちの新入生と、余裕たっぷりの先輩在校生が歓談する光景を見るのは、3年ぶりです。やっとコロナが明けたという実感がわく、感慨深い入学式でした。



## 8 クラス 126 名で新学期スタート

4月4日から8クラス(進学クラス3、日本語クラス5)で授業がスタートしました。学生数は昨年4月期の約2倍の126名。出身地別では、台湾が44%、香港が21%、インドネシアが11%、タイが10%、マレーシアが4%、マカオが4%、その他(6カ国)が6%です。

# 祝合格

(2023年3月31日現在)

## 【大学院】

- ☆国立神戸大学大学院 医学研究科  
バイオメディカルサイエンス専攻 修士課程 (台湾)
- ☆明治大学大学院 商学研究科 商学専攻 博士前期課程 (台湾)
- ☆芝浦工業大学大学院 理工学研究科 建築学専攻 修士課程 (台湾)
- ☆流通経済大学大学院 物流情報学研究科 物流情報学専攻  
修士課程 (台湾)
- ☆東洋大学大学院 国際学研究科  
グローバル・イノベーション学専攻 修士課程 (インドネシア)
- ☆東京都立大学大学院 人文科学研究科 臨床心理学教室  
博士前期課程 (台湾/2016.03卒)
- ☆東京都立大学大学院 人文科学研究科 日本語教育学教室  
博士前期課程 (台湾/2022.03卒)

## 【大学】

- ☆上智大学 経済学部 経営学科 (マカオ)
- ☆国士舘大学 経営学部 経営学科 (台湾)
- ☆中央大学 国際経営学部 国際経営学科 (インドネシア)
- ☆芝浦工業大学 工学部 機械工学科 (インドネシア)
- ☆東京農業大学 国際食料情報学部 国際食農科学科(インドネシア)
- ☆東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科 (インドネシア)
- ☆東洋大学 法学部 企業法学科 (韓国)
- ☆大東文化大学 経営学部 経営学科 (台湾)
- ☆桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 (インドネシア)
- ☆ものづくり大学 技能工芸学部 建設学科 (ミャンマー)
- ☆足利大学 工学部 創成工学科 建築・土木分野 (ミャンマー)
- ☆尚美学園大学 音楽応用学科 音楽メディアコース  
三年次編入 (インドネシア)
- ☆洗足学園音楽大学 音楽・音響デザインコース (台湾)
- ☆洗足学園音楽大学 管楽器(木管)コース (台湾)

## 【専門学校】

- ☆専門学校 ESP エンタテインメント東京 音楽アーティスト科  
サウンドクリエイターコース (韓国)
- ☆東京アニメーションカレッジ専門学校 アニメーション科  
アニメーターコース (台湾)
- ☆東京モード学園 ファッションスタイリストコース (香港)
- ☆専門学校東京国際ビジネスカレッジ 国際経営学科  
国際貿易コース (台湾)
- ☆東京コミュニケーションアート専門学校  
スーパークリエイター科(香港)
- ☆中央美術学園 造形芸術科 クリエイティブデザインコース  
クリエイティブデザイン専攻 (台湾)

# 就職おめでとう！

## 【2022年度就職内定状況】

2022年度は10名の就職が決まりました。ホテル、販売、貿易、教育、機械、IT、土木・建築など、各自の強みを生かした業種で採用されています。今後の活躍が楽しみです。

10名のうち2名は、2022年3月にJETを卒業した後も就職活動のための「特定活動ビザ」で諦めずに就活を続け、内定を得ました。コロナ禍で落ち込んでいた就職市場も、徐々に活気を取り戻しつつあります。

# 卒業式 40名に修了証書

3月13日に卒業式が行われ、進学科14名、基礎科26名の計40名に修了証書が授与されました。山口校長と越野理事長の祝辞を受け、AクラスのJoanna Carla Santosoさん(インドネシア)が卒業生を代表して挨拶を述べました。

山口校長は祝辞で、「迷ってください。失敗してください。自分の目で見て、自分の足で歩いて、あとで語れる経験をたくさんしてください。」と、卒業生たちを激励しました。

## 皆勤賞にインドネシアの学生

卒業式では、皆勤賞の表彰も行われ、1年皆勤のNicolaus Abrahamさん(インドネシア)が表彰されました。副賞の図書カードは後援会から贈られました。

Nicolausさんは2013～2014年にも在籍していましたが、その時は出席率が足りず、証書がもらえませんでした。専門学校を卒業して帰国し、また再びJETの学生となってからは、皆勤賞を目指して日々の健康管理に努めました。自分のことを『いい意味で』根に持つタイプ』と語っていました。

## 3年ぶりに全員対面で

コロナ禍で2年間、対面とオンラインのハイブリッド形式で卒業式を行ってききましたが、今回は卒業生全員が会場に揃うことができました。全面対面での実施は実に3年ぶりです。

また、日本ではこの日からマスク着用が個人の判断に委ねられることになり、多くの卒業生がマスクを外して証書を受け取りました。共に学んだクラスメートでも顔をきちんと見て話すのは初めてで、「初めまして」と冗談を言い合う姿も。少し気恥ずかしそうに照れながらも、嬉しそうな笑顔があふれる卒業式となりました。



↑皆勤賞のNicolausさん



↑卒業生代表のJoannaさん

## 2023年度の奨学生決定

### 【在學生に3名、卒業生に6名】

高山国際教育財団より奨学生の推薦依頼をいただき、李牧庭さん(台湾)、Salma Dani Wicaksanaさん(インドネシア)、Mercy Linさん(インドネシア)の採用が正式に決定しました。

JASSO 学習奨励費予約制度(大学進学後の1年間受給)による奨学生には、EJUの好成績によって、何焮萱さん(台湾)、陸芷妍さん(マカオ)、Ezra Budi Emanuelさん(インドネシア)が選ばれました。さらにJETからはEJUの成績に加え、出席良好の3名を推薦し、Joanna Carla Santosoさん(インドネシア)、Stephen Kellen Tandiarriさん(インドネシア)、廖子豪さん(台湾)が正式採用になりました。(石津)



# 大学生との交流

## ○東洋大学の学生との交流会

1月24日、東洋大学の国際寮の大学生10名を招き、C・D・Hクラスで交流会を行いました。

大勢の学生さんが来ることを事前に伝えると、「年齢も近いのですぐ友達になれるはず!」とよい反応が。Dクラスでは交流会の内容から当日の司会までクラスで話し合い、いざ本番!最初こそ緊張していたものの、あっという間に話の輪が広がり、教室中に笑顔の花が咲いていました。「もっともっと話したかった」とJETの学生。東洋大の皆さんからは「10月に入った学生さんが多いとは思えないほど、皆さん活発に日本語を話していますね。」との感想をいただきました。実際に話せたこの経験が、次へのきっかけとなることを期待したいです。(木村)

おしゃべりが止まらない!→  
みんな笑顔のDクラス



## ○早稲田大学の学生らとの交流会

4月19日、早稲田大学国際交流サークルWIC主催の「日本教室」が開かれました。JETからは参加希望者が多かったため、校内で抽選し、5名が参加しました。2023年度初回のこの日は、いろいろな言語で伝言ゲームをしたり、折り紙をしたりしました。参加した学生は、「とても楽しかった。また参加したい!」と語っています。

## 日本の高校で交流会

# 順天高校を訪問しました!

2月17日、JETの学生28名が北区の順天高校を訪問しました。高校生たちは、JETの学生たちのためにたくさんの企画を考えてくれていました。盆踊り、折り紙、茶道などの体験をしました。盆踊りは、ちょっと恥ずかしがりながらも、かわいい女子高生たちに促されて必死に踊り、茶道では、美味しい和菓子もふるまわれ、大満足の2時間でした。最後にはトランプ大会で大はしゃぎでした。(山口)



↑初めての盆踊り!結構難しい!



↑みんな真剣!トランプ大会

# ア ク テ イ ビ テ イ

## ○大相撲トーナメント

2月5日、両国国技館で行われた「大相撲トーナメント第47回大会」を観戦しました。参加した学生3名は相撲が大好きで、普段からテレビで見えていましたが、この日初めて生で見て、力士の体と体がぶつかり合うその迫力に大興奮。相撲の技をおもしろおかしく解説してくれる「しょっ切り」のコーナーも盛り上がり、大満足の日でした。(石津)

## ○函館研修旅行「冬のつどい」

2月8日から12日の5日間で行われた函館研修旅行「冬のつどい」(北海道国際交流センター主催)に、3名の台湾人学生が参加しました。

学生たちは、スキー体験やわかさぎ釣りなど、北海道ならではのアクティビティーを通して函館を満喫しました。函館教育大の学生や地元の高校生たちとも交流を深め、充実した時間を過ごすことができたようです。(郷野)



↑初めての雪合戦を終えて

## 新任の先生の紹介

今年度、新たに3名の先生が加わりました。石井豊彦先生、小田沙織先生、掛川真愛先生です。



↑石井豊彦先生  
(理数科目)  
「香川県生まれで、うどんが大好きです。朝昼晩3食でも食べられます。」



↑小田沙織先生  
「趣味は動物園へ行くことです。ハムスターを飼っています。」



↑掛川真愛先生  
「動物が好きです。カワソコカフェがおすすめです!」

また、木村晴美先生が教務主任に、得猪節子先生が生活指導主任に着任しました。

今学期は専任8(うち理数1)、非常勤9(うち理数1)の計17名の教師陣となります。

# 学 校 日 誌

- 1月10日 北区日本語教室第3期スタート [6面]
- 1月16日 進路説明会(学部)
- 1月18日、19日、20日、25日、2月2日 防災体験
- 1月23日 進路説明会(大学院、専門学校、就職)
- 1月24日 東洋大生との交流授業 [3面]
- 1月31日 中央公園交流会(Gクラス) [6面]
- 2月3日 節分(1、2限 豆まき)
- 2月5日 大相撲トーナメント [3面]
- 2月6日 2023年度進学科学生対象ガイダンス
- 2月8日 進学科卒業試験(日本語・英語)
- 2月8日～12日 北海道国際交流センター主催  
函館研修旅行「冬のつどい」 [3面]
- 2月16日 中央公園交流会(Dクラス) [6面]
- 2月17日 順天高校を訪問 交流会 [3面]
- 2月24日 期末試験(筆記)
- 2月28日 漢字クラス 期末試験
- 3月3日 中央公園交流会(A、Bクラス) [6面]
- 3月6日 北区西ふれあい館にて「華のスマカ」自主上映会
- 3月13日 卒業式 [2面]
- 3月14日～3月30日 2023年度進学科学生対象  
春の特別授業と補講
- 3月31日 クラス分けテスト
- 4月3日 入学式、オリエンテーション、新歓パーティー  
[1面]
- 4月4日 授業開始
- 4月14日 EJU全国チャレンジ模試
- 4月17日～18日 タイ王立チットラーダ校と交流会 [6面]
- 4月19日 WIC日本教室 [3面]
- 4月21日 「よむよむ会」スタート
- 4月24日 就職ガイダンス

## 第三者評価で高い評価

日本語教育振興協会が行っている第三者評価の一つ、「教育活動評価」を受審し、4月に2回目の認定を受けました。今回の認定有効期間は、2026年3月までの3年間です。

評価委員会からの総合所見では、JETの特筆できる強みとして学生支援と情報公開が挙げられており、特にホームページは「秀逸な構成」と高い評価をいただきました。

### 【訃報】

評議員の栗原百代氏が昨年12月お亡くなりになりました。栗原氏はJETの草創期、日本語や英語の授業を担当したほか、各種企画の立案にもあたりました。その後翻訳家として活躍し、1999年にはBABEL翻訳新人賞を受賞しました。心よりご冥福をお祈りいたします。

## 台湾でミニ同窓会

3月19日、台湾ミニ同窓会が台北のレストランで開催されました。1994年卒業の学生から2023年卒業の学生まで20名が集まりました。初対面の人も多かったですが、ホームステイの話や学校での思い出の話で盛り上がり、大変良い会となりました。中には、JETの卒業生同士で結婚していた学生もいました。

2023年度は、JET台湾同窓会を本格的に結成する予定です。会長の吳杰さん(2012卒)、事務局長の林松佑さん(2012卒)、よろしくお願いいたします。

台湾のみなさん、ぜひ、参加してください!(山口)



## 滝野川寮を拡張しました

4月からの学生増加に伴い、滝野川寮を3月28日より2部屋拡張しました。また、第二滝野川寮も同日新たに開寮。こちらは1部屋確保しています。学校から徒歩圏内の学校寮はこれで合計5部屋となります。各部屋には電子レンジやベッドなど生活に必要なものが揃えられ、すぐにでも生活できるよう環境が整備されています。(森山)

## 後援会会費納入のお願い

JET日本語学校後援会は奨学金・学習奨励金の給付等、本校で学ぶ学生達を支援しています。また、遠足などの補助金は、後援会からの支出によるものです。

2022年度は、延べ27の個人・団体から269,372円のご支援をいただきました。本校の教育事業にご賛同いただける方は、会費を納入していただければ幸いです。

年会費：3000円 賛助会費(一口)：2000円

郵便為替口座：00140-1-101927 JET日本語学校後援会

★★★

海外からのお振込みの場合は、手数料のかからない  
決済代行サービス flywire をご利用いただけます。

<https://www.flywire.com/pay/jet-academy/>



## JET、35年の歩み (前編)

JET日本語学校は2023年3月で創立35周年を迎えました。「山あり谷あり」の足跡を社会の出来事とともに2回に分けて振り返ります。

### 1987年

5月 学校法人設立準備委員会が発足

7月 台湾の戒厳令が解除

### 1988年

1月 板橋駅前に校舎落成。地上10階地下1階のビル。3階と4階が学校の自己所有部分で、5階は20年の長期賃貸契約。(右写真は1988年5月)

3月8日 東京都知事より学校法人柴永国際学園の設立が認可され、4月1日 JET日本語学校が開校。台湾人学生1名で入学式。(理事長・校長 沖永嘉計、学園長 柴田邦夫、副校長 金美齢、事務局長 山崎琢磨、事務係長 高橋実、教務主任 井上靖夫、学務主任 李建祥)

7月 中国人就学生81名入学。その後9月に65名、10月に82名、12月に24名入学し、1989年11月には在籍数が270名余りに。(学校の定員は本来150名であったが、ビルの3~5階以外も利用できたため、入国管理局の定めた定員枠により、二部制で476名まで認められていた。地下には学生食堂、6階にはシャワー室も設けた。)

8月頃 東京入国管理局の審査が厳格化され、ビザの許可率が5割以下に。いわゆる「冬の時代」の始まり。

11月 **上海事件** (就学ビザ発給を求める中国人が、上海の日本国総領事館に大挙して押し寄せた。)

8月頃 東京入国管理局の審査が厳格化され、ビザの許可率が5割以下に。いわゆる「冬の時代」の始まり。

11月 **上海事件** (就学ビザ発給を求める中国人が、上海の日本国総領事館に大挙して押し寄せた。)

### 1989年

4月 金美齢校長に就任

5月 日本語教育振興協会(日振協)設立。開校1周年記念パーティー(右写真。右から沖永理事長、金校長、柴田学園長)。



同日、後援会設立発起人大会が開催され、会長に東京理科大学教授の池田佐喜男氏が選出される。

### 1990年

8月 1988年の上海事件の余波でJET他15校が上海市当局と朝日新聞から一方的に問題校扱いされたことを受け、金校長が学士会館で記者会見を行ない(右写真)、週刊文春に



8ページの反論記事を発表。これを機に、中国からの学生

募集を徐々に制限してゆくこととした。

11月 柴田邦夫理事長就任。日系ブラジル人向けの夜間クラス開講

### 1992年

8月 事務所を1階から3階に移転し、教室は3階~5階のみを使用。定員は150名。

秋 金校長30数年ぶりの台湾帰国がかなう。

### 1993年

3月 張仲華さん(香港)のデザインによる校旗完成。赤羽寮(2DKタイプに4人が入居)がオープン(下写真)。

4月 JET通信創刊。



### 1995年

1月17日

**阪神淡路大震災**

3月20日

**地下鉄サリン事件**

7月 第1回校内スピーチ大会を5階(フロア全面)で行う。

### 1996年

4月 東京入管による審査の厳しさに加え、震災やサリン事件の影響で、在籍者数が56名まで落ち込む。

### 1997年

4月 就学ビザ申請の際の身元保証人制度廃止される。

7月 **アジア通貨危機**

10月 蓮根寮(初の個室タイプ)オープン。

11月 金美齢理事長就任

### 1999年

9月21日 **台湾中部大地震**

10月 在籍者数が153名(短期生含む)まで回復

### 2000年

4月 周英明理事長、金美齢専務理事、井上靖夫校長、それぞれ就任。日本語進学科が文部省に準備教育課程として認定される(全国で12校)。日本語基礎科は年間授業時数を880時間に増やし、日本語進学科とともに全日制とする。

5月 金美齢専務理事が台湾総統府国策顧問に就任。(~2006年5月)

### 2001年

1月26日 新大久保駅でホームから転落した人を助けようとした日本語学校生の李秀賢さんが事故死。

9月11日 **アメリカ同時多発テロ**

### 2002年

4月 日本語教師養成講座(230時間コース)開講。第1期は受講生2名。

12月 学生手作りの大忘年会(第1回)を5階で行う。

### 2003年

春 **SARSの流行**

### 2004年

10月 タイ政府派遣留学生(ODOS)第1期20名受入れ。

(次号に続く)

## タイから高校生が やって来た!

4月17日～18日、タイ王国唯一の王立学校チットラーダ校から高校2年生15名が来日し、JETで授業体験しました。順天学園(北区)とチットラーダ校の四半世紀に及ぶ交流活動において、JETは2015年から日本語研修のお手伝いをしています。コロナ禍をはさんで4年ぶりの来日で、タイ人卒業生を含む22名の学生がチットラーダ生と日本語で交流しました。

交流会の準備等ではJET在校のタイ学生が高校生のサポートや通訳に大活躍。参加したタイをはじめ台湾・香港・インドネシアの学生からは「高校生はいろいろな趣味があったりたくさん話せた」「相手にわかる日本語を使ういい勉強になった」「若くて無限の可能性があってぼくも元気になった」「タイのダンスを見せてくれてすばらしかった」等の声。ダンスのお礼にJETの学生が即興で歌を披露する一場面もありました。「将来日本に留学したいです」というチットラーダ生も。また会いたいね!とお互いに名残を惜しみました。(得猪)



↑JETのタイの学生(前列)とパシャリ★

## 板橋区のスピーチ大会に2名参加

2月25日、板橋区立グリーンホールで行われた板橋区文化・国際交流財団主催の第22回日本語スピーチ大会に、梁伯榮さん(台湾)とMercy Linさん(インドネシア)が参加しました。特訓の成果もあってか、二人とも多くのクラスメートが見守る中、堂々としたスピーチを披露してくれました。残念ながら賞は逃しましたが、大会を終えた二人の表情からは、大きな自信が感じられました。

早くも校内のスピーチ大会にも意欲を見せている二人。今後が楽しみです。(山下)



Mercyさん(←)と梁さん(↑)  
大舞台でも物怖じせず頑張りました。

## 北区日本語教室 第3期スタート

2022年度の北区日本語教室は、昨年5月から第1期がスタートし、今年1月10日からは第3期を迎えました。

第3期は、「朝クラス」2、「夜クラス」1の計3クラスでスタートしました。朝は2クラスで48名、夜は18名、計66名です。朝のクラスは第2期から継続して参加する方が多く、とても仲良しのクラスとなりました。

また朝の初歩クラスには、ウクライナの方も参加し、新しい文化を感じることができました。(山口)



## 北区中央公園での交流会

北区の中央公園文化センターで、地域の方との交流会(同センター主催)が行われました。テーマは「留学生と一緒に考えよう!共生社会について」です。1月31日にGクラス、2月16日にDクラス、3月3日にA・Bクラスが出かけました。

今までJETの学生が参加してきた交流会は、ほとんどが大学生や高校生など、学生同士の交流会でした。今回のように地域の年上の方と関わるのは初めての学生たち。みんな緊張の色を隠せません。「先生、この言い方は失礼に聞こえますか」と、いつも気にしていなかったニュアンスが気になり始める学生も。どんな話題で話したら盛り上がるかと、当日までに一生懸命に準備をしました。

交流会では、プレゼンテーションをしたり、ディスカッションをしたりと、各自が日本語でできることを精一杯やりました。緊張や不安はいつの間にか消えてしまったようで、楽しそうな笑い声が響いていました。

参加した学生たちは、「とても貴重な機会を与えてもらいました。ありがとうございました。」と笑顔で語っていました。



↑Gクラス。台湾の有名人士として金美齡先生を紹介中。

## 映画「華のスマカ」上映会

3月6日、映画「華のスマカ」の林隆太監督をお招きし、滝野川西ふれあい館で全校で鑑賞しました。上映後は監督との質疑応答も行いました。

